

第1回戦術委員会確認事項

2012年12月20日
全日本金属産業労働組合協議会
(金属労協/JCM)

金属労協は、本日18時より開催した第1回戦術委員会において、2013年闘争の進め方を以下のとおり確認した。

1. 金属労協は、12月7日に開催した第55回協議委員会において、「2013年闘争の推進」を確認した。各産別、企業連・単組は、この方針に基づき要求の策定作業を進めていく。
2. 2013年闘争は、先行き不透明感が強まる中での取り組みとなる。とりわけ、金属産業では、輸出の減少、生産拠点の海外移転のみならず、マザー工場、研究・開発拠点などについても海外移転が懸念される危機的な状況に置かれている。
金属労協は、デフレからの脱却を図り、日本経済の成長軌道を取り戻すとともに、金属産業の競争力を強化し、雇用の確保と勤労者生活の安定を図るため、「人への投資」を求めていく。同時に、金属産業を取りまく危機的な状況を脱するため、国内ものづくり産業の事業環境改善に取り組んでいく。
3. 2013年闘争の下記の主要日程を設定し、金属労協の総力を結集して闘争を推進する。
 - 1月22日(火)に「2013年闘争推進集会」を開催し、JC共闘強化に向け、各産別の闘争方針および経営側に対する金属労協の主張点について理解促進を図る。
 - 1月23日(水)に全国の最低賃金担当者を対象とした最低賃金連絡会議を開催し、2012年度の最低賃金の取り組み経過を踏まえ、2013年度の取り組み方針について、共有化を図る。
 - 集計登録組合を中心に2月22日(金)までに要求を提出し、直ちに交渉を開始する。
 - 連合春闘共闘連絡会議第1回全体代表者会議における「最大のヤマ場については、3月13～14日とする」との確認を踏まえ、JC共闘の集中回答日は3月13日(水)とする。加えて、各産別の主体的な取り組みのもとで共闘を展開し、3月の月内決着をめざす。
 - 集計登録組合に続いて回答を引き出す組合を支援するため、「中堅・中小登録組合」を設定し、要求・回答状況を公表する。
 - 第3回戦術委員会以降の日程については別途設定する。
4. 第2回戦術委員会は、1月21日(月)午前10時より開催する。

以上

2013年闘争の当面の日程

2013年 1月 15日 (火) 9:30 第2回労働政策委員会
17日 (木) 9:30 第5回書記長会議
21日 (月) 10:00 第2回戦術委員会・第5回三役会議
21日 (月) 15:30 第1回中央闘争委員会・第6回常任幹事会
22日 (火) 13:00 2013年闘争推進集会
23日 (水) 13:00 2013年度最低賃金連絡会議
3月 13日 (水) 集中回答日

以 上